

次世代に引き継ぐために

古事の森づくり活動

梅雨の晴れ間の六月一日(土)に、愛媛森林管理署管内のサル谷山国有林(愛媛県久万高原町)に設定している※「伊予之^{いよの}二名島古事^{ふたな島のしまこじ}の森」で、平成二八年度第一回の整備事業を実施しました。

この古事の森活動は、平成一九年度に「伊予之二名島古事の森育成協議会」との協定に基づき、松山城や道後温泉本館など木の文化を象徴する伝統的な木造建築物の修復材を安定的に供給するための取組です。

当日は、一般公募による参加者一三名を含む一八名で、植生保護管(ヘキサチューブ)を、取り外す作業等を実施しました。(写真上) 現地は、石鎚山系の中腹とはいえ、蒸し暑い中での作業でした。参加して頂いた皆さま、ご苦労さまでした。(写真下)
(※古代において、四国を伊予之二名島と呼んだ。)



8.4 子どもサミットで 高知市立第六小学校が発表

発表課題「校庭のアカマツ保護」事前授業を平成28年度 学校の森 子どもサミット(主催 学校の森・子どもサミット実行委員会 構成組織に林野庁)が宮城県で、8月4日(木)に開催されます。(全国から11小学校)

このサミットに、高知市立第六小学校の6年生が応募し参加・発表することになりました。内容は、校庭にある樹齢100年を超えるアカマツの保護に向けた学校、生徒、地域が取組んでいる経過を発表する予定です。



サミット出場に合わせて、6月13日(月)に、6年生を対象に校庭の「アカマツ」について事前授業が実施されました。

当日、地域の方から、当時のアカマツの周辺で遊んだ思い出などが話されました。(写真) 技術普及課からは、3年前に学校長より、アカマツ保護に向けた要請があった内容、アカマツの特徴などについて授業を行いました。サミットでの発表に向けて、引き続き協力していきたいと考えています。

知っ得 豆知識

「植え替えた」 って

早生樹センダンの実は、4月21日(播種後、43日目)新芽を確認。

技術普及課では、6月16日(木)に木村業務管理官の指導を仰ぎ、徳島署から植え替えを始めました。先ず、根切りを行い(写真上)、コンテナ容器に植え替えました。(写真下)

今後、随時、全署等の苗木も植え替える予定です。植え替え完了次第、署等へ戻せる苗木本数をお知らせします。



【編集後記】

「紫陽花は 彩りそえる 梅雨空に」
待ち遠しい梅雨明け。
この季節、水分補給もしっかり、
日々の健康管理に留意を。